

校名：大分大学教育学部附属幼稚園

所在地：〒 870-0819

電話番号：097-544-4449

記載日：28年5月16日 記載者：武津 智美

記載者役職：園長

貴校の校風、おおまかな特色について：

- 「豊かに生きる子どもの育成」ゆたかに・かがやいて・たくましく生きる子どもの育成をめざしている。
- 大分市の中心地に位置しながら、自然豊かな環境のもと、自然とふれあって遊ぶ、さくらんぼや杏など実のなる木を育てて食すなど様々な体験ができる。
- 四校園が一つの敷地内にあり、各校園間での交流が行われている。



貴校の卒業生の活躍状況について：

- 調査ではないが、中学生に幼稚園での思い出や幼稚園に通ってよかったことなどをアンケートに書いてもらい、分析をする予定にしている。
- 在園児の保護者に本園を卒業した方がたくさんいる。その方たちがPTA会長や後援会長などとなり園経営をサポートして下さっている。

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

- ①追跡ではないが、異動発表、教職員名簿等で知っている
- ②園でほぼ把握できている
- ③・園長（副園長）→公立小学校の校長
 - ・教頭→公立幼稚園の園長
 - 上記を経て、退職後、私立大学の教員になっている方もいる
 - ・教諭→公立小学校、公立幼稚園教諭
 - 幼小連携担当をしている教員もいる

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

○「保育を語る会」年間 10 回を開催

大学教員の講師による様々なテーマの講話とそれをもとにしたグループ討議を県下の幼稚園教諭（公私問わず）と行っている（昨年度は全 9 回、延べ 180 名の教員が参加）

○「お話しボンの会」を各学年週 1 回開催

地域の方が講師として来園。年少・年中は読み聞かせとわらべうたを、年長は「ことのは教室」と読み聞かせを実施

○子育て支援機関として、未就園児へのすくすく広場・「お話しボンの会」・絵本の部屋と園庭開放・教育相談等を実施

・すくすく広場

・・・未就園児を園に招き、幼稚園体験、園児との交流の場を設けている（年 4 回）

・お話しボンの会

・・・年少児のお話しボンの会に未就園児も参加できるようにしている

・園庭と絵本の部屋の開放は、夏季・冬季休業中に行う

・教育相談・・・子育ての相談に応じる（地域を含む）

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

○私立を含む幼稚園・こども園等のセンター的役割

○私立を含む幼稚園・こども園等の研修機関

（県の初任研・10 年研の研修の場、保育を語る会・保育研究協議会の開催）

○子育て支援機関（未就園児へのすくすく広場・絵本の部屋と園庭開放・教育相談等実施）

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

○本園は、いわゆる本来の幼児教育や国の施策に基づいた保育を行い、県の幼児教育の先導的役割を果たしている。県下の教員が幼児教育を学ぶ場となっている。

○幼稚園での学びとは何かをはっきりさせ、小学校の学びにどのようにつながっていくのかを研究し、冊子を発行することで、幼稚園教育のよさを示す。